

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	14,700,000株	24年3月期	14,700,000株
25年3月期1Q	924株	24年3月期	924株
25年3月期1Q	14,699,076株	24年3月期1Q	14,699,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の東日本大震災や原発事故による影響が未だ色濃く残るなか、その後のサプライチェーンの復旧と復興関連需要の本格化による公共投資やエコカー減税の復活等もあり内需は拡大し、新興国の景気拡大に減速感があるものの外需も底堅く推移しております。一方国外では欧州債務危機等を要因とした金融資本市場の変動問題があり、国内環境に目を向ければ電力供給の制約や原油高の影響に不安定な政局が拍車をかけ、景気が下押しされるリスクも内包しております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますサービスステーション（略称：SS）業界においては、消防法改正による地下タンク問題の猶予期限である2013年2月が迫り来る中、SS数の減少に伴う市場環境は依然として厳しい状況が続いております。

この難局に立ち向かうべく掲げられた新戦略構想「MURAKIプラス」も当会計期間末で1年の蓄熟期を迎え、着実にその成果を生み出す創意は進化の一途にあります。具体的には日々の営業活動にプラス施策となる業界接触活動が、当会計期間末に600件を超え年間2,000件目標に対し順調に推移しております。この行動は当社の3年後、5年後を先見した時、必ずや業績に反映されるべきものと確信しております。

商材面におきましては、この時期の定番でもあるワイパーブレードと引き続き好調を継続中のエアコン関連機器及びエアコン関連ケミカルを軸に展開し、計画とおりの売上高を確保するにいたしました。

また、新事業領域を見通した業務提携も着々と進行中であり、これに伴う売上高拡大の受容準備として、首都圏支店の再編成をも進めてまいります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 2,324百万円（前年同期比 0.9%増）となりました。

収益面におきましては、売上総利益はほぼ前年並みの 649百万円。販売費及び一般管理費は、基幹システムの入替に伴う減価償却費と賞与引当金繰入額等の計上により 20百万円増加し、営業利益は 20百万円（前年同四半期は営業利益 39百万円）、経常利益 36百万円（前年同四半期は経常利益 49百万円）、法人税等 11百万円を計上し、四半期純利益は 24百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業につきましては、上記要因から売上高は 2,278百万円（前年同期の売上高 2,266百万円）セグメント利益は 23百万円（前年同期のセグメント利益 43百万円）となりました。「その他」につきましては、売上高は 71百万円（前年同期の売上高は 65百万円）セグメント損失は 3百万円（前年同期のセグメント損失 4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は 3,997百万円（前連結会計年度末比 42百万円増）うち純資産は2,223百万円（前連結会計年度末比 12百万円減）となりました。

資産の部における項目増減は、流動資産 56百万円の増加、固定資産 13百万円の減少となりました。主な原因は次のとおりです。流動資産は、現金及び預金の増加 105百万円、売掛債権の減少 5百万円、商品在庫の減少 70百万円、流動資産のその他によるもの 25百万円の増加。固定資産は、建物及び構築物の減少 2百万円、有形固定資産のその他によるもの 3百万円の減少、無形固定資産によるもの 4百万円の減少、投資等の減少 3百万円等によるものです。

負債については、流動負債の増加 41百万円、固定負債の増加 13百万円で、流動負債の増加内訳は、仕入債務の増加 12百万円、1年以内返済予定の長期借入金の増加 33百万円。固定負債は、長期借入金の増加 26百万円、退職給付引当金の減少 13百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、概ね計画通りに推移しているため、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては平成24年5月10日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたならば、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（減価償却費）

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,026,654	1,132,356
受取手形及び売掛金	1,032,627	1,026,968
商品及び製品	640,447	570,297
その他	71,245	96,833
貸倒引当金	△4,131	△3,036
流動資産合計	2,766,842	2,823,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,203	775,203
減価償却累計額	△662,908	△665,424
建物及び構築物（純額）	112,295	109,778
機械装置及び運搬具	31,808	31,384
減価償却累計額	△24,846	△25,071
機械装置及び運搬具（純額）	6,962	6,313
土地	438,325	438,325
リース資産	2,875	2,875
減価償却累計額	△1,581	△1,725
リース資産（純額）	1,293	1,149
その他	172,616	173,162
減価償却累計額	△138,994	△142,943
その他（純額）	33,622	30,218
有形固定資産合計	592,499	585,785
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	45,095	36,875
差入保証金	399,407	398,611
その他	79,346	82,660
貸倒引当金	△21,103	△18,501
投資その他の資産合計	502,745	499,645
固定資産合計	1,188,234	1,174,415
資産合計	3,955,077	3,997,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	817,216	829,436
1年内償還予定の社債	33,000	33,000
1年内返済予定の長期借入金	163,200	196,350
短期借入金	45,800	33,200
リース債務	602	610
未払法人税等	46,935	14,863
賞与引当金	18,000	9,276
その他	91,956	141,990
流動負債合計	1,216,711	1,258,727
固定負債		
社債	50,500	50,500
長期借入金	122,000	148,050
リース債務	778	622
退職給付引当金	299,543	285,959
役員退職慰労引当金	10,240	12,938
その他	19,033	17,299
固定負債合計	502,095	515,370
負債合計	1,718,806	1,774,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	244,534	239,340
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,243,631	2,238,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,360	△14,701
その他の包括利益累計額合計	△7,360	△14,701
純資産合計	2,236,270	2,223,735
負債純資産合計	3,955,077	3,997,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,304,911	2,324,954
売上原価	1,656,514	1,675,835
売上総利益	648,397	649,118
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	306,922	299,196
賞与引当金繰入額	—	9,276
役員退職慰労引当金繰入額	—	2,698
その他	301,998	317,179
販売費及び一般管理費合計	608,920	628,351
営業利益	39,476	20,767
営業外収益		
受取利息	—	580
仕入割引	9,895	15,034
その他	2,121	3,628
営業外収益合計	12,016	19,243
営業外費用		
支払利息	720	2,126
手形売却損	1,354	871
その他	371	206
営業外費用合計	2,446	3,203
経常利益	49,045	36,807
特別損失		
投資有価証券評価損	—	878
その他	—	461
特別損失合計	—	1,339
税金等調整前四半期純利益	49,045	35,467
法人税、住民税及び事業税	10,223	11,263
法人税等合計	10,223	11,263
少数株主損益調整前四半期純利益	38,822	24,204
四半期純利益	38,822	24,204

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,822	24,204
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,949	△7,341
その他の包括利益合計	△1,949	△7,341
四半期包括利益	36,873	16,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,873	16,863
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カーケア関連商品販売を主たる事業としており、「自動車補修部品」「自動車ケミカル」「サービスステーション備品」等の「カーケア関連商品販売」と「自動車販売及び整備」「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等の「その他」を報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度のセグメント区分から変更はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,266,066	38,844	2,304,911	-	2,304,911
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	26,410	26,453	(26,453)	-
計	2,266,109	65,254	2,331,364	(26,453)	2,304,911
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	43,512	△4,673	38,839	△636	39,476

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,278,712	46,241	2,324,954	-	2,324,954
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	25,550	25,556	(25,556)	-
計	2,278,717	71,792	2,350,510	(25,556)	2,324,954
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	23,605	△3,936	19,669	1,097	20,767

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。